



ミュージアムコレクションⅡ それぞれのふたり

大沢昌助 と 建畠寛造

Museum Collection II "Two Artists' Works" Series
OSAWA Shosuke and TATEHATA Kakuzo



9²⁰²¹
11_(土) — 11.21_(日)

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

会場 | 世田谷美術館 2階展示室

開館時間 | 10:00 - 18:00 (入場は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日

(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)

※9月20日(月・祝)は開館、9月21日(火)は休館。

観覧料 | 一般200(160)円、大高生150(120)円

65歳以上 / 中小生100(80)円

* ()内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は100円。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。* 小・中学生は土、日、祝・休日は無料 * 同時開催の企画展子ケツトで本展をご覧いただけます。

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

展覧会のご案内 050-5541-8600(ハローダイヤル)

上: 大沢昌助《類推(青)》1981年 下: 建畠寛造《杜・対話6》1999年

OSAWA Shosuke and TATEHATA Kakuzo



大沢昌助《黄色の構図》1992年



大沢昌助《呪文1》1988年



大沢昌助《不詳(絶筆・未完)》1997年



大沢昌助《レダ》1985年

洋画家・大沢昌助(1903-1997)と彫刻家・建畠覚造(1919-2006)。分野は違いますが、ともに写実的な具象から出発し、戦後は独自の造形を求めて抽象へと展開した作家です。さらに、両者とも晩年まで果敢に新しい表現に挑み続けた、千変万化の人でもありました。また、東京美術学校教授である芸術家を父に持ち、多摩美術大学で教鞭を執ったという共通点もあり、ジャンルや年齢を超えて互いに敬愛しあう間柄でした。ふたりの作品は理知的かつユーモアにあふれ、どこか相通じる雰囲気も感じさせます。本展では当館の収蔵品から、主に1980年代以降の作品を中心にご紹介します。絵画と彫刻において、戦後日本の抽象表現をリードしてきたふたりの創造の軌跡をご覧ください。

大沢 昌助 [1903-1997] 建畠 覚造 [1919-2006]

1903年9月24日、建築家・大沢三之助の次男として東京に生まれる。1928年、東京美術学校西洋画科を首席で卒業、在学中は藤島武二に師事。1929年、二科展に初入選。1942年、二科賞受賞。1945年、戦後の二科会再建に会員として参加。1952年、サロン・ド・メ(パリ)に招待出品。1954年より16年間、多摩美術大学で教鞭を執る。1991年、練馬区立美術館にて「変身と変貌 大沢昌助展」開催。同年、新都市舎都議会本会議場前ロビーの大理石壁画デザインを手がける。1995年、第4回中村彝賞受賞。1997年5月15日逝去。

1919年4月22日、彫刻家・建畠大夢の長男として東京に生まれる。1941年、第4回新文展にて特選受賞。同年、東京美術学校彫刻科を首席で卒業。1950年、行動美術協会の彫刻部設立に参画。1953年から1955年まで渡欧。1959年より14年間、多摩美術大学で教鞭を執る。1967年、第10回高村光太郎賞受賞。1981年、第12回中原俊二郎賞受賞。1982年、和歌山県立近代美術館にて「建畠覚造展」開催。1983年、ヘンリー・ムア大賞展特別優秀賞受賞。1990年、芸術選奨文部大臣賞受賞。2005年、文化功労者顕彰。2006年2月16日逝去。



建畠覚造《展開》1960年



建畠覚造《WAVING FIGURE 11》1984年



建畠覚造《WAVING WALL 1(大)》1990年



建畠覚造《BALLOON 6》1997年

小コーナー展示

河合卯之助のしごと — 新収蔵品より



昨年度の新収蔵品より、京都の陶芸家・河合卯之助(1889-1969)の作品をご紹介します。
《菊葉とこる赤絵番茶器揃》
制作年不詳

すべての作品撮影：上野則宏

同時開催企画展 ※企画展は日時指定予約制です

- **塔本シスコ展 シスコ・パラダイス**
かかずにはいられない！ 人生絵日記
2021年9月4日(土)ー11月7日(日)
- **生誕160年記念**
- **グランマ・モーゼス展 — 素敵な100年人生**
2021年11月20日(土)ー2022年2月27日(日)

交通案内

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砦町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。



世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM
〒157-0075 東京都世田谷区砦公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/> 展览会のご案内 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止及び抑制のため、ご入場の際に、手指消毒、マスクの着用、検温のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。※展览会の会期などが、急遽変更や中止となる場合もございます。最新情報は当館ウェブサイト等でお知らせします。